

世界平和の日（1月1日）

教皇パウロ6世は1968年1月1日、ベトナム戦争が激化するなか、平和のために特別な祈りをささげるよう呼びかけました。それ以来、全世界のカトリック教会は毎年1月1日を「世界平和の日」とし、戦争や分裂、憎しみや飢餓などのない平和な世界が来るよう祈っています。平和はキリスト教そのものに深く根ざしています。

キリスト者にとって平和を唱えることは、キリストを告げ知らせることにほかなりません。

新年にあたって「信仰の原点に立ち戻り、すべての善意ある人々手をたずさえて平和な世界の実現に向かって、カトリック信者としての責任を果たしていく」（日本司教団『平和への決意』）ことができるよう決意を新たにしたいと思います。

中央協議会 日本の教会における祈願日等の解説より